



「わとくのサンルームから」

兵庫県立和田山特別支援学校

校長 野口 照正

←本校ブログページのQRコードです。

1 2学期最初の10日間

2学期が始まって、10日が過ぎました。今のところ、夏休み中の反動から心身の不調を訴える児童・生徒は出ていませんので、とにかくひと安心です。このリズムを守りながら、学校生活をA T M（明るく、楽しく、前向きに）で送ってほしいものです。

しかし、日中はまだまだ真夏日が続いています。これから「夏の疲れ」が出ないように、「良質な睡眠」と「タンパク質の摂取を意識した食生活」を心がけて、今年も短くなりそうな「秋」を楽しみましょう！

2 ○○の秋

「○○」には、どのような言葉をイメージされますか？

あるランキング・サイトを見ますと、60%以上の方が「食欲の秋」と答えていました。しかし、新米をはじめ食材の高騰に頭を悩ませている方も多いですね。本校厨房の経営も同様ながら、給食費については、8年間も据え置きで対応しています。「給食費を値上げせずに、給食のメニューを充実させたい!」。この悩みを解決する方策の一つとして、来月初旬に実施する「但農コラボウィーク」の実現につながりました。

今回は、但馬農業高校で生徒さんが丹精を込めて育ててきたお野菜を、給食の食材として活用すると共に、同高校の生徒さんが10月1日に本校へ来校され、高等部の生徒に向けて食育のプレゼンを披露され、その後に給食を一緒に食べていただきます。

さらに次年度以降は、土づくり、野菜や果物の植え付けや収穫体験なども実現できたら、小学部や中学部との子供たちの交流も期待できそうです。

その他、「芸術の秋」であれば、「わとく応援隊」の皆さんが夏休み中に会議を持たれ、楽しい企画を準備されています。「スポーツの秋」でも、本校生徒が全国障害者スポーツ大会の兵庫県代表選手団に選ばれて、10月末の佐賀大会に向けて、トレーニングに励んでいます。パリパラリンピックは閉幕しましたが、兵庫県内の特別支援学校を卒業されたアスリートが、陸上競技の日本代表として出場されました。本校卒業生から未来の日本代表が誕生するか、将来が楽しみです。

われわれ「わとく」職員も周囲の皆さんの頑張りに心地よい刺激を受けながら、それぞれに「○○の秋」を探究したいものです！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。